

# ハワイの歴史と文化の再生

Cグループ

大阪事務所名古屋駐在 芦谷 一博  
文化振興課 新里 和也  
市町村課 仲瀬 潤  
農業研究センター名護支所 島袋 裕子

## 目次



- 1 ハワイの歴史
- 2 ハワイ経済の移り変わり
- 3 ハワイ文化の再生
- 4 ハワイに学ぶこと



## 1 ハワイの歴史 先史時代

- ハワイの先住民はポリネシアから海を渡ってやってきた
- 12世紀頃には階級社会と**禁令制度**の成立
- 土地は全て神の所有物で**私有地**という概念がない
- 自給自足と物々交換

個人が利益を得たら、他人に分け与えるという価値観

**所有権の概念が薄い**

## 1 ハワイの歴史 カメハメハ1世

- 1778年 イギリスの海洋探検家  
ジェームズ・クックの発見
- 1795年 カメハメハ1世が  
**ハワイ王国の建国**を宣言



**約100年間 8代の王によるハワイ王国の始まり**

## 1 ハワイの歴史 カメハメハ2世

ハワイ文化の否定と西洋文化の浸透

- 12世紀から続く**禁令制度の廃止**
- キリスト教的価値観の浸透
- 貨幣経済の普及と外国製品の輸入



**伝統的な規範や文化の崩壊**  
**ツケによる購入で借金の増大**

## 1 ハワイの歴史 カメハメハ3,4,5世

西洋化による問題

- 1840年ハワイ憲法の公布  
→ 立憲君主制成立  
→ **要職は外国人**
- 土地法の制定により私有地の概念  
→ 土地でツケの支払い  
→ **約75%が外国人の所有地**



**外国人の影響増大とハワイ人の地位の低下**

### 3つの勢力の対立



#### ハワイ

- ・立憲君主制
- ・独立を維持したい
- ・経済的に困窮



#### イギリス

- ・立憲君主制
- ・古くからのつきあい



#### アメリカ

- ・近代文明化への貢献
- ・経済的に支援

### 1 ハワイの歴史 ルナリロ王（6代）

#### 親英から親米へ

- 憲法に従い、初の選挙による国王
- アメリカ人を閣僚に据え、アメリカからの政治的、経済的援助を求める政策



**イギリスからアメリカへ 政策の転換**

### 1 ハワイの歴史 カラカウア王（7代）

#### 親英から親米へ

- 1875年米布互惠条約締結
- ・ ハワイからアメリカへの輸出は非課税
- ・ アメリカ以外の他国に譲渡・貸与せず、特権も与えない



**アメリカの影響力による傀儡政権化**

### 1 ハワイの歴史 リリウオカラニ女王（8代）

#### ハワイ王国の滅亡

- アメリカ公使らの暴走によるハワイ王国の転覆と暫定政府の樹立
- 女王は反逆罪で逮捕  
→ **王位請求を諦め宣言書に署名**
- アメリカのハワイ併合、ハワイ州成立



**1993年11月 アメリカ合衆国議会は、  
ハワイ併合に至る過程が違法だったと認め公式に謝罪**

### 目次



- 1 ハワイの歴史
- 2 ハワイ経済の移り変わり**
- 3 ハワイ文化の再生
- 4 ハワイに学ぶこと



### 2 ハワイの経済の移り変わり

#### 先史時代

- 農業、沿岸漁業、魚の養殖等による自給自足経済

#### 欧米人との遭遇以降

- 貨幣経済  
→ 欧米人への借金の対価に土地を売却  
→ 欧米人によるプランテーションの拡大
- ハワイ先住民の激減  
→ 欧米からの疫病により、約30万人から約4万人に激減

**労働者不足による移民受入れが多民族社会へ**

## 2 ハワイの経済の移り変わり

(参考) ハワイにおける「日系二世・日本人移民・県出身移民」

	日系二世の世帯	県出身移民	日本人移民
1900年	約5,000人	26人	約40,000人
1910年	約20,000人	約5,000人	約70,000人
1920年	約50,000人	約9,000人	約110,000人
1930年	約90,000人	約10,000人	約130,000人
1940年～ 2008年	約120,000人	約13,000人～ 約45,000人	約150,000人～ 約220,201人



## 2 ハワイの経済の移り変わり

### アメリカ併合以降のハワイ

- プランテーションの繁栄と衰退  
→ 主にサトウキビとパイナップル
- 観光業の発展  
→ **南洋の楽園のイメージの創出**
- 基地経済  
→ 太平洋の重要拠点としてのハワイ

## 目次

- 1 ハワイの歴史
- 2 ハワイ経済の移り変わり
- 3 ハワイ文化の再生**
- 4 ハワイに学ぶこと



## 3 ハワイ文化の再生

### 宗教観

- 自然崇拝

### 言語と芸能

- 口承文化  
→ 「言葉」そのものに力が宿るという考え  
→ 歴史、伝説、信仰等ハワイの全てを言葉で伝える
- フラ  
→ 言葉の意味をより深く「伝える」ためのジェスチャー

### 3 ハワイ文化の再生

#### ハワイ王国時代

- カラカウア王 (7代)  
・文化の復興
- リリウオカラニ女王 (8代)  
・文化の普及



**王権の存続をかけたハワイアン文化の復興**

### 3 ハワイ文化の再生

#### ハワイ州時代

- 1970年代 ハワイアン・ルネサンス  
→ かつてアメリカに奪われた自主権（文化）を取り戻す
- 1978年 ハワイ州憲法改正  
→ ハワイ語が公用語になる  
→ 「ハワイ先住民族の文化、歴史、言語の学習を促進すべき」  
(憲法修正条項)

**行政による再生の取り組み**

### 3 ハワイ文化の再生

#### ハワイの歴史・文化とハワイ語の教育

- ① 1984年 就学前の児童 → 親もハワイ語を学ぶことを義務化
- ② 1987年 小学校 → 授業がすべてハワイ語
- ③ 1994年 中高一貫校
- ④ 2006年 ハワイ大学ハワイ学部博士課程の発足

**一貫した教育体制が整う  
社会的地位のあるハワイアンの増加**

### 3 ハワイの文化再生 フリーリサーチ①

#### ハワイ大学 ウィンドワード コミュニティ・カレッジ



#### Windward Community College - University of Hawaii DAVID KEANU SAI, Ph.D.



### 3 ハワイの文化再生 フリーリサーチ②

#### ハワイ人問題事務局 (OHA : Office of Hawaiian Affairs)

- 1970年代のハワイアン・ルネサンスが設立の背景
- 州憲法により設置された、行政とは独立した機関
- 土地の返還、文化の保全などハワイ人の権利



ハワイ人問題事務局 (OHA : Office of Hawaiian Affairs)



ハワイ人問題事務局 (OHA : Office of Hawaiian Affairs)



### 3 ハワイの文化再生 フリーリサーチ

ハワイ人問題事務局 (OHA : Office of Hawaiian Affairs)

#### 沖縄へのアドバイス

- OHAのような機関がなぜ無いのか
- 公的機関が子ども達に歴史を学ぶ機会を与えるべきではないか



文化やアイデンティティに対する強い思い



### 目次



- 1 ハワイの歴史
- 2 ハワイ経済の移り変わり
- 3 ハワイ文化の再生
- 4 ハワイに学ぶこと**



### 4 ハワイに学ぶこと

#### 類似点が多い沖縄にも活用できないか

- ハワイの取組
  - ・ 教育によるハワイ語や歴史・文化の学習
  - ・ 言語の公用語化
  - ・ OHAのような専門機関の設置
- **文化の再生・継承に繋がっている**

沖縄で同じことをするのは難しい

### 4 ハワイに学ぶこと 戦略のターゲット

#### 行政が得意な部分

- 広報、宣伝による認知度の向上
- 文化をブランド化・コンテンツ化して誘客に結びつける
- 文化の継承に要する費用の助成

#### 行政が苦手な部分

- 文化を再生・継承する気持ちを育む

#### 4 ハワイに学ぶこと

持続可能な観光産業のためには  
「その地域だけの何か」が必要

文化の再生と継承は不可欠

#### 4 ハワイに学ぶこと

課題

文化の再生や継承は  
個人の意志に基づくので  
強制できるものではない

興味がない人が増えれば文化は衰退する

#### 4 ハワイに学ぶこと

提言

歴史や文化を学ぶことで  
ルーツやアイデンティティを考えるようになり  
文化の再生や継承に強い思いをもつようになる

行政が主導すべき部分がある

#### さいごに

ここにいらっしゃる皆さんと  
ハワイで出会った全ての人に

いっぺー にふえー でーびる  
マハロ ヌイ・ロア (Mahalo nui loa)